



対談 日本とはどのような国か

古代日本の成立と人々から考える

「日本」がはじまったのは、おおよそ天智から持統、文武天皇の七世紀末といわれます。倭王権をはじめさまざまな勢力があった列島が、中国・朝鮮半島など東アジア情勢の変化によって大きな緊張状態におかれ、そこから中央集権的な律令国家が生まれてきました。この時代に起こった、大化の改新や壬申の乱といった皇位継承争いや権力闘争。激動の時代をどう生きるか、新しい国づくりをどのように進めるかといった、人々の真剣さや喜び、悲しみなどの思いがかたちとなった歴史は、現代を生きる私たちを今なお惹きつけてやみません。

古代を舞台にした作品を数多く手がけ、律令編纂や宮都の造営などの事業を担った持統天皇を30年以上にわたり描き続けた里中満智子さんと、『蘇我氏』『戦争の日本古代史』など数多くの著書をもつ歴史学者の倉本一宏さん、それぞれの視点から、日本のはじまりの時代とそこに生きた人々をめぐって語り合います。



© 里中満智子

講師

マンガ家、大阪芸術大学教授 里中 満智子
国際日本文化研究センター教授 倉本 一宏

開講日

10月7日(土) 13:00~15:00

受講料

一般3,400円(会員3,200円)+税

里中 満智子 (サトナカ マチコ)

大阪府生まれ。高校在学中に『ピアの肖像』で第1回講談社新人漫画賞受賞、デビュー。代表作に『あした輝く』『アリエスの乙女たち』『海のオーロラ』『あすなろ坂』『狩人の星座』『天上の虹』『マンガギリシア神話』『マンガ旧約聖書』『古事記 壺: 創業90周年企画(マンガ古典文学シリーズ)』など多数。2006年に全作品及び文化活動に対し、日本漫画家協会賞文部科学大臣賞受賞。2010年文化庁長官表彰受賞。日本漫画家協会常務理事、マンガジャパン代表、大阪芸術大学キャラクター造形学科教授なども務める。『天上の虹』は日本の第41代天皇であり、女帝である持統天皇を描く大河歴史ロマン。1983年に連載を開始し2015年に発売された23巻をもって32年越しに完結を果たしている。



倉本 一宏 (クラモト カズヒロ)

三重県津市生まれ。東京大学大学院人文科学研究科国史学専門課程博士課程修了。現在、国際日本文化研究センター教授。博士(文学、東京大学)。主要著書:『一条天皇』『壬申の乱』『壬申の乱を歩く』『平安貴族の夢分析』『持統女帝と皇位継承』『紫式部と平安の都』(以上、吉川弘文館)、『三条天皇』『藤原伊周・隆家』(ミネルヴァ書房)、『藤原道長の日常生活』『戦争の日本古代史』(講談社現代新書)、『藤原道長の権力と欲望』(文春新書)、『藤原道長「御堂関白記」を読む』(講談社選書メチエ)『平安朝 皇位継承の闇』(角川学芸出版)、『「旅」の誕生』(河出ブックス)、『蘇我氏』(中公新書)



詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

入会金不要



名古屋・栄 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164

10:00~19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F